

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

東海旅客鉄道株式会社（証券コード：9022）

【据置】

長期発行体格付	AAA
格付の見通し	安定的

■格付事由

- 三大都市圏（東京、名古屋、大阪）を結ぶ東海道新幹線を中心に強固な事業基盤を構築している。また名古屋駅などの沿線主要駅を中心に、不動産業や流通業なども展開する。現在は中央新幹線計画が進行中であり、24年3月末時点での工事契約締結件数は77件（品川～名古屋延長約286kmのうち約9割）、用地取得状況は約75%となっている。
- 収益の柱である東海道新幹線を中心に、需要回復が鮮明になっている。引き続きコスト増加が見込まれるが、運輸収入の回復などによってカバーされ、現状程度の利益水準を維持出来ると考えられる。中央新幹線関連投資の増加などによって投資負担は重くなっていくと見られるが、今後も財務面に大きな影響が生じる可能性は低い。以上より格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 24/3期営業利益は6,073億円（前期比62.2%増）。新幹線および在来線ともに輸送量の回復が進んだほか、流通業や不動産業なども堅調な業績推移となった。25/3期営業利益は6,080億円（同0.1%増）の計画。観光利用が中心の土休日は既にコロナ禍前の水準を上回るなど、今後も新幹線の輸送量が拡大すると見られる一方、人件費や物件費などの増加が見込まれる。ビジネス利用が中心となる平日の輸送量については足元でもコロナ禍前の水準まで回復しておらず、今後の需要創出策や単価向上策の成果に注目している。
- 25/3期の設備投資計画は6,740億円（前期は4,805億円）であり、うち中央新幹線建設投資は3,500億円（同2,594億円）である。26/3期以降も中央新幹線関連を中心に高水準の投資が続くと見られる。しかし①総事業費（見込み）7.04兆円のうち3兆円は2017年に財政投融資を活用した借入を完了していること、②キャッシュフロー創出力が回復していること-等から、当面、有利子負債が大きく増加する局面は想定しづらい。

（担当）加藤 直樹・外窪 祐作

■格付対象

発行体：東海旅客鉄道株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AAA	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年7月4日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：加藤 直樹
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)、「鉄道」(2020年5月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 東海旅客鉄道株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル